

個別施設計画一覧表(橋梁)

【更新年月日：令和3年3月】

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点か らの距 離	建年 設定	供用 年数	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計荷 重)	橋下 条件	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工型式	橋台工 型式	橋脚工 型式	海岸から の距離 (km)	施設の現況			計画内容				優先 度	実施 年月日	措置記録		備考		
																				点年実施 年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施 予定時 期			対策費用 (概算:百万円)	再判定実施 年月日		再判定区分	
																								分類	概要(数量)								分類
B-11-16	13	北箱根山線	自動車道1級	因作渡場橋	裾野市深良	17.50	1986年	35	鋼橋	鋼桁橋	不明	不明	深良川	12.70	7.66	鋼単純非合成鋼桁	逆T式	—	17.5	R1.9.3	II	支承の腐食等	R2~R6	点検	—	R6	0.5	中					
B-11-16	13	北箱根山線	自動車道1級	武名入橋	裾野市深良	12.10	1990年	31	鋼橋	鋼桁橋	S55	1等橋 (TL-20)		10.65	7.30	鋼単純非合成鋼桁	逆T式	—	16.0	R1.9.3	II	支承の腐食等	R2~R6	点検	—	R6	0.5	中					
B-11-16	13	北箱根山線	自動車道1級	新郷名後橋	裾野市深良	18.00	1989年	32	鋼橋	鋼桁橋	不明	不明	河津川	13.00	6.00	鋼単純非合成鋼桁	重力式	—	18.0	R1.9.3	I	—	R2~R6	点検	—	R6	—	低					
B-13-15	8	大沢入線	自動車道2級	9010号橋	裾野市須山	0.16	1981年	40	RC橋	RC床版橋	不明	不明		10.10	4.74	RC単純床版	逆T式	—	15.0	R1.9.4	I	—	R2~R6	点検	—	R6	0.5	低					
B-13-15	8	大沢入線	自動車道1級	9011号橋	裾野市須山	1.20	1980年	41	RC橋	RC床版橋	不明	不明	普通河川	7.00	3.70	RC単純床版	重力式	—	14.1	R1.9.4	I	—	R2~R6	点検	—	R6	—	低					
B-13-29	17	田向線	自動車道1級	9013号橋	裾野市須山	0.60	不明	不明	RC橋	RC床版橋	不明	不明	普通河川	8.00	4.00	RC単純床版	重力式	—	14.7	R1.9.5	I	—	R2~R6	点検	—	R6	—	低					
B-13-35	23	裾野愛鷹線	自動車道2級	大沢入橋	裾野市須山	0.70	2017年	4	鋼橋	鋼桁橋	H24	A活荷重	佐野川	22.00	4.80	鋼単純非合成鋼桁	逆T式	—	15.0	R1.9.5	I	—	R2~R6	点検	—	R6	0.5	低					

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-11-16	林道台帳索引番号番号	13	施設管理者	裾野市
路線名	北箱根山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	図作渡場橋
施設の所在地	裾野市深良	起点からの距離	17.5km	建設年度	1986年
供用年数	35	種別	鋼橋	型式	鋼鈹桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	深良川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.70m (12.10m)		幅員(車道幅員)	7.66m (6.46m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純非合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SMA50AW	塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.5km		
施設の目的利用実態等	林道北箱根山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月3日				
	調査結果	支承に腐食が確認された。放置すると腐食が進展し板厚減少することが見込まれる。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 50千円				
管理方法	長寿化対策として、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-11-16	林道台帳索引番号番号	13	施設管理者	裾野市
路線名	北箱根山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	武名入橋
施設の所在地	裾野市深良	起点からの距離	12.1km	建設年度	1990年
供用年数	31	種別	鋼橋	型式	鋼鈹桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	1等橋 (TL-20)	橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.65m (10.19m)		幅員(車道幅員)	7.30m (6.10m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純非合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SMA50AW	塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	16.0km		
施設の目的 利用実態等	林道北箱根山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月3日				
	調査結果	支承に腐食が確認された。放置すると腐食が進展し板厚減少することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	II (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 50千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-11-16	林道台帳索引番号番号	13	施設管理者	裾野市
路線名	林道北箱根山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	新綴名後橋
施設の所在地	裾野市深良	起点からの距離	18.0km	建設年度	1989年
供用年数	28	種別	鋼橋	型式	鋼鈹桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	発電管水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.00m (12.30m)		幅員(車道幅員)	7.20m (6.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純非合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.0km		
施設の目的 利用実態等	林道北箱根山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月3日				
	調査結果	構造物の機能に支障が生じていない状態であるが、放置すると損傷が生じることが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の 内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全であるためため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理方法	長寿化対策として、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0円					0円				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-13-15	林道台帳索引番号番号	8	施設管理者	裾野市
路線名	大沢入線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	9010号橋
施設の所在地	裾野市須山	起点からの距離	0.2km	建設年度	1981年
供用年数	40	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.10m (9.40m)		幅員(車道幅員)	4.74m (4.04m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト		塗装使用の有無	無
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	—		海岸からの距離	15.0km		
施設の目的利用実態等	林道大沢入線は、富士裾野線(県道24号線)大型連休中の混雑時(富士サファリパーク等の娯楽施設の利用客)の迂回路としての機能も有している。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月4日				
	調査結果	舗装部に滞水と土砂堆積が確認された。放置すると車両走行に対する安全確保に影響を及ぼすことが見込まれる。				
	健全性の診断結果	I (健全)	橋梁の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	排水管の土砂詰まりが考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約500千円				
管理方法	長寿化対策として排水施設の清掃等維持作業を適切に行い、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-13-15	林道台帳索引番号番号	9011	施設管理者	裾野市
路線名	林道大沢入線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	9011号橋
施設の所在地	裾野市須山	起点からの距離	1.2km	建設年度	1980年
供用年数	37	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.00m (6.50m)		幅員(車道幅員)	4.20m (3.70m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト		塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.1km		
施設の目的利用実態等	林道大沢入線は、富士裾野線(県道24号線)における大型連休中の混雑時(富士サファリパーク等の娯楽施設の利用客)の迂回路としての機能も有している。また、この利用区域には整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年9月4日				
	調査結果	構造物の機能に支障が生じていない状態であるが、放置すると損傷が生じることが見込まれる。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全であるため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 0円				
管理方法	長寿化対策として、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0円					0円				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-13-29	林道台帳索引番号番号	9013	施設管理者	裾野市
路線名	林道田向線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	9013号橋
施設の所在地	裾野市須山	起点からの距離	0.6km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.00m (7.50m)		幅員(車道幅員)	5.00m (4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト		塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.7km		
施設の目的 利用実態等	林道田向線の利用区域には、整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月5日				
	調査結果	構造物の機能に支障が生じていない状態であるが、放置すると損傷が生じることが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全であるため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0円					0円				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	B-13-35	林道台帳索引番号番号	23	施設管理者	裾野市
路線名	裾野愛鷹線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大沢入橋
施設の所在地	裾野市須山	起点からの距離	0.7km	建設年度	2017年
供用年数	4	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	H24	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	佐野川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	22.00m (21.30m)		幅員(車道幅員)	4.80m (4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純非合成鋼桁			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490W	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	15.0km		
施設の目的 利用実態等	裾野愛鷹線は、富士裾野線(県道24号線)大型連休中の混雑時(富士サファリパーク等の娯楽施設の利用客)の迂回路としての機能も有している。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年9月5日				
	調査結果	損傷は確認されなかった。				
	健全性の 診断結果	I (健全)	橋梁の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和2年度～令和6年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										